

# GF Recipe.

EXG-PRACTICAL EDITION : EXTERIOR-DESIGN TEXTBOOKS

GRANFACE LEX-DesignOfficeTOKYO Present's | EXTERIOR & GARDEN Planning Process Story

## エクステリア設計 プランニングテキストブック | GF-Recipe.PC編

グランフェイスが集約したエクステリア設計基本のバイブル的教科書  
外構計画を深く学ぶために必要な手法を集約した「プラクティカル編」

住宅計画に欠かせない要素となってきた外部空間。エクステリア&ガーデンデザイン  
建築と同様にエクステリア設計計画の組立て方応用的プランニングロジックを解説  
業界に携わる者として設計スキル向上を目指して必要とされる設計手法や計画手順など  
理解し更なるスキルアップを目指すためのエクステリア設計プラクティカル編を考案する



## — エクステリア応用編：目次 —

### 序章・・・EXG-Practical Edition | 応用編：はじめに

---

MS	. 美しい構えの演じ方：設計ロジック	・・・	3～6
PL	. エクステリア業の心構え	・・・	7～18

### 第1章・・・Space-Design Process | スペースデザイン編

---

1	. ファサードデザインの設計基本	・・・	19～29
1-WS	. エクステリアデザイントレーニング	・・・	30～34
2	. ファサードデザインの設計説明書	・・・	35～48
3	. ファサードデザインの設計手順	・・・	49～68
4	. 敷地内連動設計の基本手法	・・・	69～71
4-1	. 敷地内連動設計の基本手法：グランデザイン	・・・	72～86
5	. ファサードデザインのGF設計手法	・・・	87～87
5-1	. GF設計手法：レイヤーデザイン	・・・	88～97
5-2	. GF設計手法：スリーキュービックデザイン	・・・	98～103
5-3	. GF設計手法：ミニマムデザイン	・・・	104～113
5-4	. GF設計手法：アン.ディスプレイデザイン	・・・	114～117
5-WS	. ファサードデザインのGF設計手法：まとめ演習	・・・	118～120

### 第2章・・・Parts Design Process | パーツデザイン編

---

6	. パーツデザイン 設計基本	・・・	121～133
6-WS	. パーツデザイントレーニング	・・・	134～138
7	. パーツデザイン 設計説明書	・・・	139～150
8	. パーツデザイン 門 袖 編・演習	・・・	151～172
9	. パーツデザイン 車 庫 編・演習	・・・	173～180
10	. パーツデザイン 園路階段編・演習	・・・	181～192
11	. パーツデザイン 緑 化 編・演習	・・・	193～206

### 第3章・・・Exterior Design WorkShop | エクステリア設計演習編

---

12	. エクステリアデザイン 設計演習	・・・	207～213
----	-------------------	-----	---------

### まとめ・・・EXG-Practical Edition | 応 用 編

---

ED	. エンディング：エクステリア応用編を学んで	・・・	214～215
----	------------------------	-----	---------



## 美しい構えの演じ方

エクステリア&ガーデン設計の応用編として解説されるこの教科書。基本編で多くの設計レギュレーションを習得した方々にデザイン演出を解説するのがテキストの目的となります。今、最注目される外部空間設計だからこそ他と差別化の鍵として本物を追求する設計者を指しエクステリア設計手法「演じ方」をしっかり学んでいきましょう。

## PROLOGUE. エクステリア業の心構え

エクステリア&ガーデン設計に取り組むために必要な情報と今後の業界に影響するビジョンとミッションを様々な角度から紹介していきます。外部空間設計に取り組む姿勢や考え方など建築設計と同様に欠かせない業種となった今こそより良い住まい提案が行えるよう外部空間設計のプロフェッショナルとしてエクステリアデザインが担う本来の意味や重要性について考えていきましょう。





# 第一章

## スペースデザイン編

エクステリア&ガーデン計画の外枠として全体を操作する設計項目がスペースデザインとされる空間設計です。様々な情報や用途に応じて設定される外部空間要素に備わる組立て方や手順や手法などを把握して理想の住まいに欠かせなくなった構え方と演じ方を学びましょう。

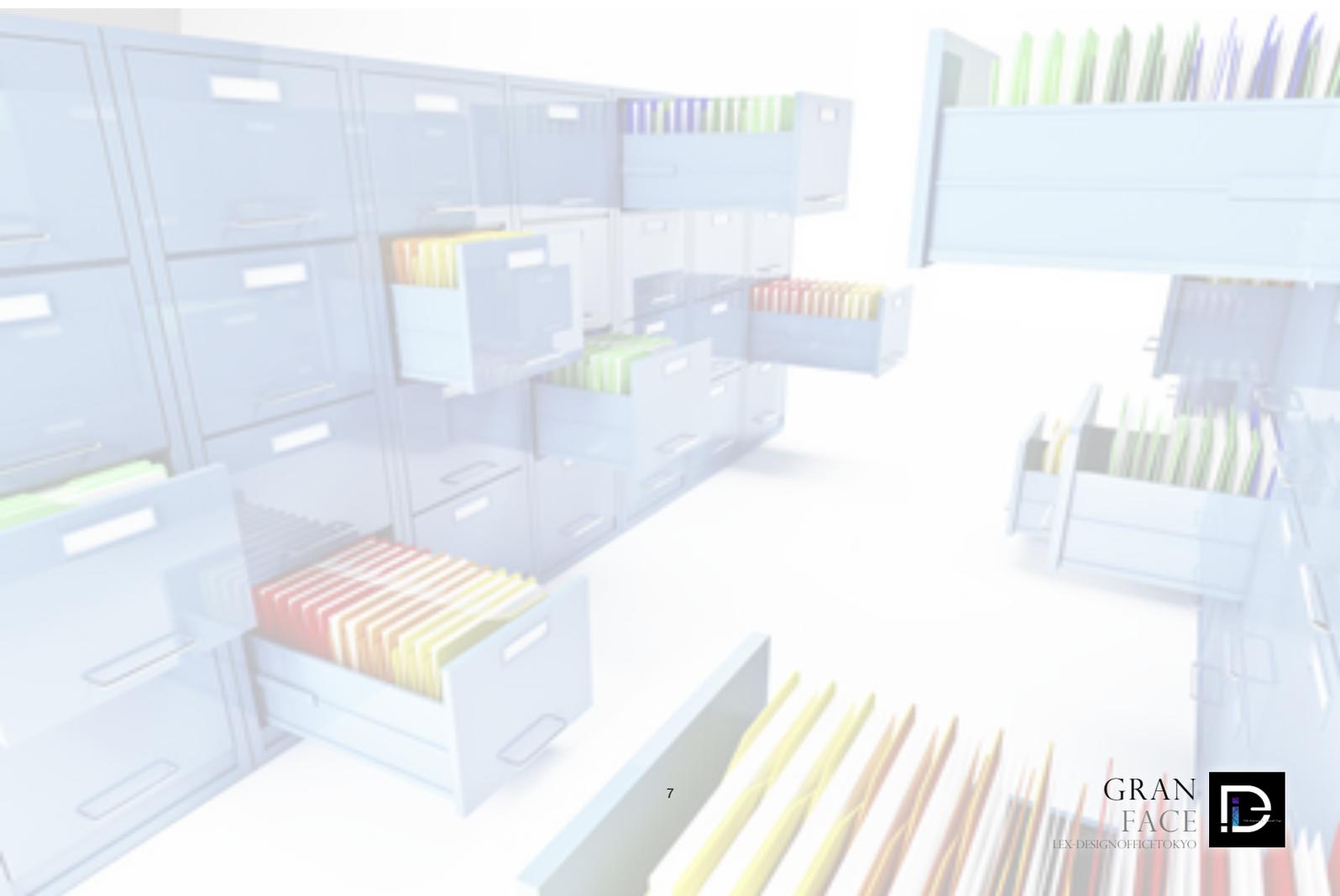
# 1. ファサードデザインの設計基本

エクステリア&ガーデン設計の外枠設計内でもっとも欠かせない主要空間はファサードデザインです。住まいの顔として求められる構えの基本について解説していきます。設計基本と設計手法を習得し自己能力向上に繋げるためにも現状を理解することで設計内容に差が現れます。様々な事柄を学びつつ自分が持つスキルやレベルを分析把握する「イメージショントレーニング」にもチャレンジしていきましょう。



## 2. ファサードデザインの設計説明書

このエクステリア設計では様々な手法を用いてファサードデザインを計画することを紹介していきます。基本的な手順を把握してスムーズな計画を行える設計者を目指すためにも、まずはしっかりとベースとなる設計プロセスを認識することが大切です。設計提案を枠で捉える計画手順を理解していきましょう。



### 3. ファサードデザインの設計手順 \* EXG-Regulation編 集約

エクステリア設計では基本編で紹介した各空間設計の基本以外に装飾演出ルールが備わっています。基礎を理解すれば次のステップはその組み立て手順です。しっかり順序を把握することで間違いのないエクステリアを組み上げられますのでレシピを覚え建築に見合った設計を行えるように把握しましょう。



## 4. 敷地内連動設計の基本手法

現在の住宅事情や様々な要因によって住まい計画の形は変わろうとしています。グランデザイン提案は住まい計画のプロフェッショナル提案として欠かせない設計手法のひとつです。住宅設計だけでは結びつけない付加価値を向上させる住まい計画の最大目的の敷地内連動設計をここで学んでいきましょう。



## 4. 敷地内連動設計の基本手法

### CS-2. ファサード応用設計 | ファサードデザインに要するGF設計手法

エクステリア設計は建築計画と違い多くの要素を用いて自由に計画を行うことが出来る大変に面白い業種です。法的な要因が少ない分、容易に設計を行うことが出来そうですがその分情報に大きな幅があるため完成度に差が出ることもあります。それでは良い計画良い提案とは言えないため応用レギュレーションを用いて計画を行うことが重要となっていきます。そこで、下記のような手順を用いて計画することでプランが容易に組み立てられます。設計手法の活用では「**建築と同時に計画を行う、空間を分離する、部位の重ねる、要素を制限する、建築計画を補う**」などの見えなかった良し悪しが明確になり最適提案が出来ると言うものです。ここではエクステリア計画に欠かせないオリジナル設計手法の一例を解説していきます。

#### ■. ファサード計画の空間設計手法一覧



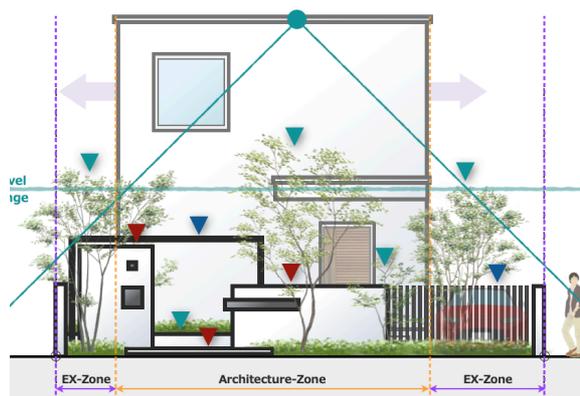
① **レイヤーデザイン設計** | 建築から道路までの距離に対してエクステリア設計に要する部位の配置や濃度を把握するため外部空間をレイヤーと表し重なり数や量を確認し把握するための設計手法である。スタイルによって違いはあるがそれに限らずとも重ね方によって導き出される理想とされる設計バランスや必要に応じて備える部位演出の確認としても活用される。部位も同様にレイヤー数で計画する。



② **3キュービックデザイン設計** | 建物から道路境界までの奥行きと敷地間口と建築の高さに対して空間を分離しエクステリアに備わる限られたエレメントを偏ることなく最適な配置計画を行うための確認計画として活用する手法のこと。三分割は一つの例であり設計者スキルが高く技術力のある者はさらに細かく区別してエクステリア空間だけの分割方法で計画を行っていくことも出来る手法である。

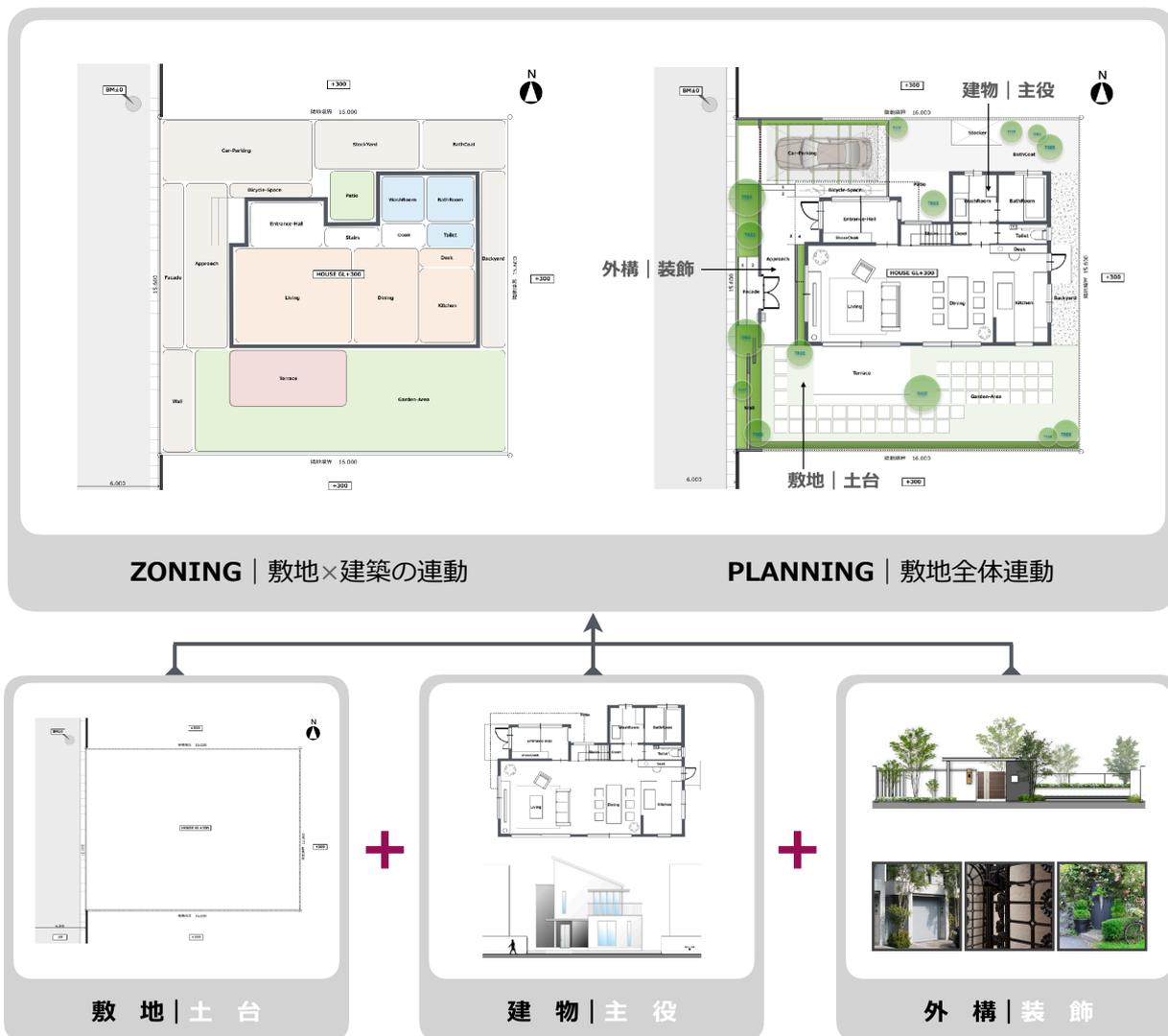


③ **ミニマムデザイン設計** | オープンスタイルが主流となった住宅事情に合わせて選択する設計手法「最小限要素で最大限効果」が求められ応じたもの。フォームやバランスのみで空間を構成するためエクステリアの知識や経験などによる高いレベルの設計力が求められる。素材力や意匠力に頼ることなくスケルトンで最適な空間設計を行い全体像をフォルムにより計画する**エクスケープデザインのベース**となる。



④ **アン・ディスプレイデザイン設計** | 建築計画では法的に敷地に対していっばいに設計が出来ないためエクステリアで補う必要がある。ポイントは隣地境界までの距離や建築基礎構造などの壁面に頼らない補足の壁や屋根や空間、境界部への配慮とした目隠しもその一つです。エクステリアはこういった枠にはまらない建築規模の外枠計画を担っていることからエクステリア設計手法の基本でもある。

## 4. 敷地内連動設計の基本手法 | GRAND-DESIGN



### GRAND-DESIGN : グランドデザイン

**Master-Planning Logic** “敷地内”に備わる「建築+外構+庭+内装」を連動させ同時進行で計画を行う一連の作業

#### 4-1. これからは『GRAND-DESIGN = 敷地内連動設計』が住宅計画のスタンダード

様々な要因の中、現在の住宅事情や環境配慮など多くの物事が取り巻いています。更に厳しくなる住宅事情で新たな提案スタイルが必要となり、オーナー様の心をくすぐる仕掛け作りが急務となっています。そこで総合的に提案出来る強みを持つ企業ほどトータルディレクションとした敷地内の備わる全てのエレメント連動が不可欠となる「**グランドデザイン=敷地内連動設計**」が最重要課題となっていくことに気付き実行することがブランド再構築の鍵であり近道であると認識してきました。土地購入時からの付き合いが出来る企業はこの提案を優先的に実行することが可能でしょう。今までは土地+建築（内装）が優先的に進められていきましたが、この敷地内連動設計は土地に備わる全ての要素を同時に計画することがポイントです。当然建築外の敷地の余白までをしっかりと計画することで意匠性や機能性に窓先の演出までを含めて提案するためスタート時の計画が重要になっていきます。見た目のこだわりや機能と意匠を両立したエクステリア提案が鍵となっていきます。法的な理由や様々な要因によって妨げられた空間=余白の間を補うため外部空間設計が重要視される現在でその空間を誰が手掛けるのかが注目される時代にプロフェッショナルコンダクターとして設計者の役割を今こそ理解しておきましょう。

## 5. ファサードデザインのGF設計手法

エクステリア計画を考えるために必要な多くの空間把握設計手法があります。機能だけでまとめることなく与えられた余白空間をいかに有効的に活用するかは設計者次第。理想的なエクステリア設計を提案するためにもファサードデザインを美しく計画するために必要な様々な組立て方を解説していきます。



## 第二章

### パーツデザイン編

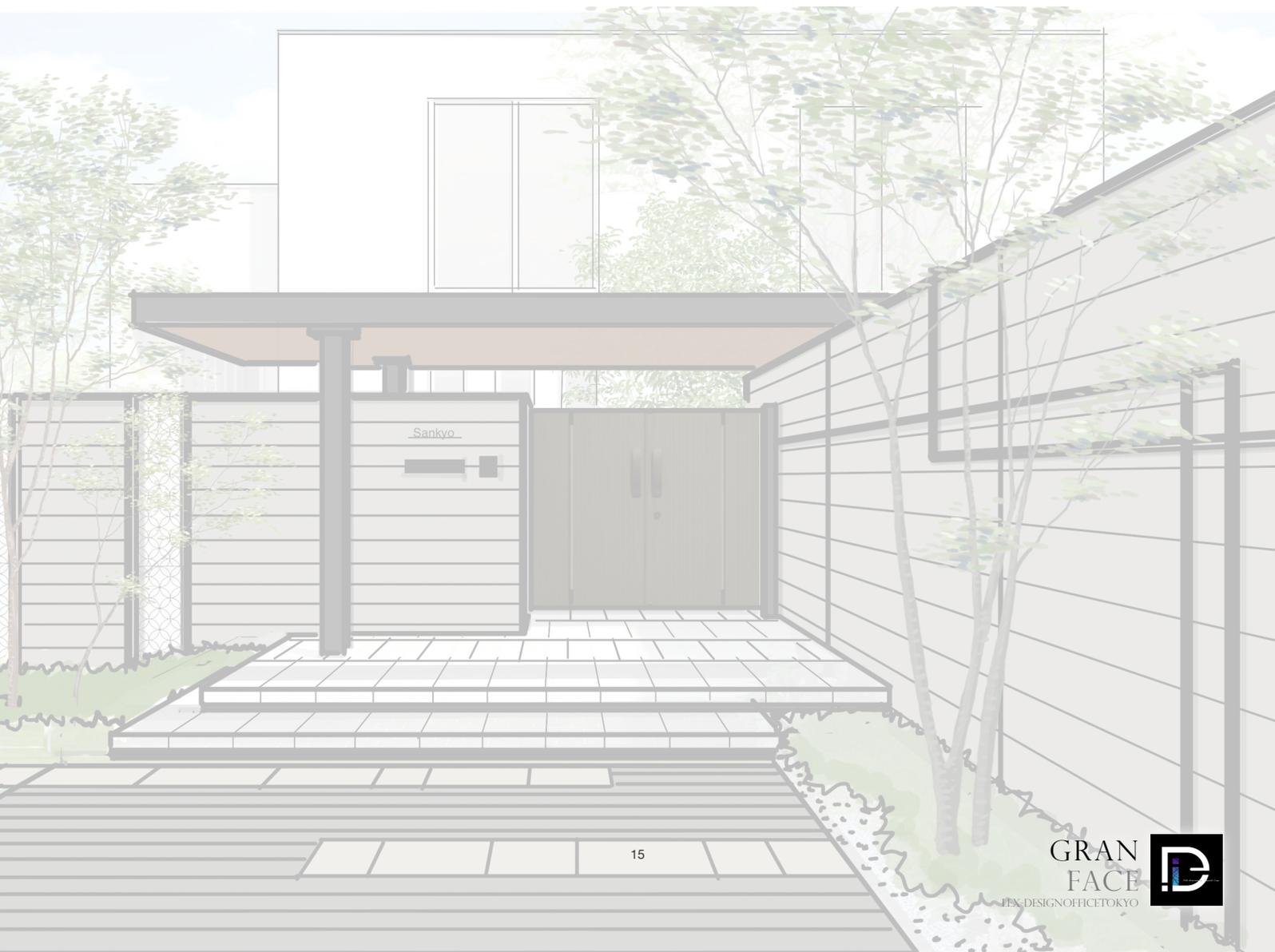
エクステリア&ガーデンにおいて空間に備える造作要素がいかに重要かを理解する必要があります。特に大切なエレメントとなるパーツデザインにはそれぞれの計画に合わせて様々なルールや形があります。この第二章では各パーツを組み立てる設計手法を解説していきます。

## 6. パーツデザインの設計基本

現在のエクステリア設計には様々な手法を用いて計画したパーツデザインが多く存在します。基本的な手順を把握してスムーズな計画を行える設計者を目指すためにも、まずはしっかりとしたベースとなる設計ルールを認識することが大切です。外部空間に要する一般的な部位の設計基本を解説していきましょう。

## 7. パーツデザインの設計説明書

エクステリア設計を組み立ていくには様々なパーツを要してまとめ上げていくことがポイントでしょう。それぞれを組み合わせることで一つの空間に収めることで「スペースデザイン」が成立していきます。ここではパーツ自体の設計手順を解説していきます。ファサードデザイン計画と違いはありませんが細かな装飾演出方法の違いや組立てにルールやレギュレーションと合わせてしっかりと手順を把握していきましょう。



## 8. パーツデザインの設計基本：門袖編

エクステリアデザインにおいてもっとも重要な役割を持つのが門袖デザインです。単なる壁面とならぬよう様々な設計手法を用いてお洒落で違いのあるデザインを添えながら演出することが大切です。住まいの価値を明確に表す最重要ポイントになりますのでしっかり組立を学んでいきましょう。



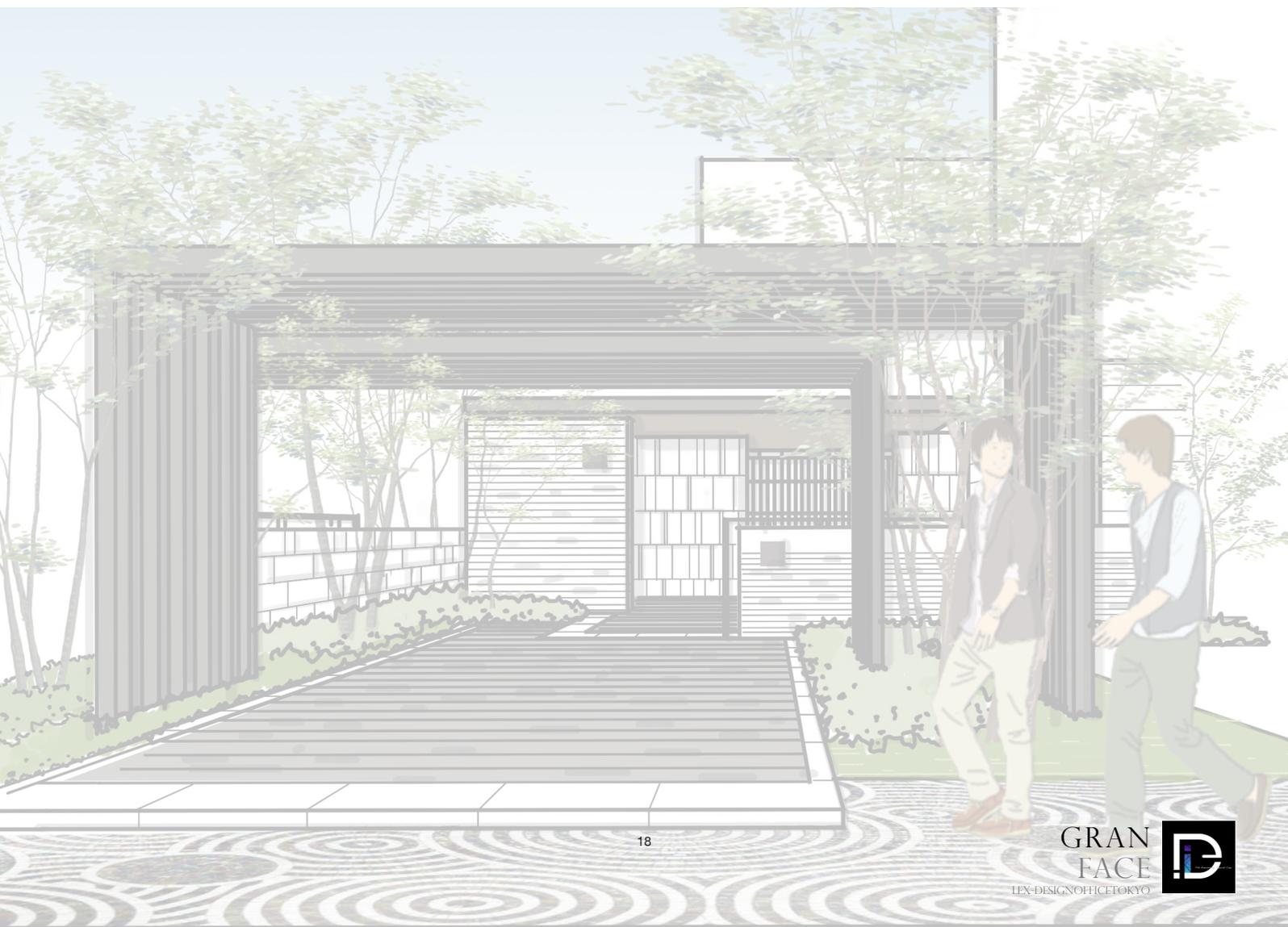
## 9. パーツデザインの設計基本：車庫編

駐車スペースは敷地の余白に大きなスペースを必要とする部分です。したがって、そのレイアウトや床の仕上げ材、アクセントの付け方などを工夫し空車時に殺風景にならないよう注意して設計を行うことが大切です。しっかりとデザイン要素を取り入れた設計を目指していきましょう。



## 10. パーツデザインの設計基本：園路.階段編

門まわりと玄関を繋ぐ園路や通路のことを「アプローチ」といいます。門まわりと同様にアプローチも大切なエレメントです。動線や視線を上手くコントロールし歩くことが楽しくなるような園路デザインを施すことがポイントです。舗装面や階段など意匠的な要素をしっかり学んでいきましょう。



## 11. パーツデザインの設計基本：緑化編

植栽計画はいつの時代でもエクステリア設計には欠かせないエッセンスのひとつです。オープンスタイルのような開放的なファサードの場合、抜け感を抑えて緑の借景を作ることや、開放敷地を用意してまち並み貢献や価値向上など連続性を考えることが大切です。また、緑化計画によってもたらされる環境保全への対策にも繋がっていきますのでしっかり植栽設計手法を学んでいきましょう。





# 第三章

## エクステリア設計演習

ここまで学んだ手法を用いて実践しましょう。基礎・手順・寸法・手法・規則・作画など様々な事柄を含めながら自らソーニングとプランニングを作成していく項目です。エクステリア設計に向ける意識や技術を習得したものだからこそ完成させられる計画を描きましょう！。

## 12. ファサード&パーツデザイン設計演習

※GRANFACEオリジナル課題

エクステリア設計のレギュレーション基本編とプラクティカル応用編と活用して計画する模擬課題を準備しました。これまで学んだ様々なレギュレーションやテクニックを再認識しながらファサードデザインプランを仕上げてみましょう。テーマや条件などの課題内容は添付してある資料を参照して進めて下さい。図面はコピーして縮尺調整してご活用下さい。自身のスキル確認のまとめとしてチャレンジしていきましょう。





# 美しい構えの演じ方

**GF**

RECIPE EXTERIOR-DESIGN TEXTBOOKS/002

EXG-PRACTICAL EDITION



GRANFACE | LEX-DESIGN OFFICE TOKYO

EXTERIOR & GARDEN DESIGN Produce Factory | GF-Original EXG-Planning Practical.